

臼杵高校の生徒の皆さんへ

新型コロナウイルスの感染症による全国的な休校が続いています。生徒の皆さんには、不要不急の外出は避けて自宅で過ごすようお願いしています。全国的な感染が広がるなかで、高校生の皆さんが感染して他人にうつさないことが大切であり、社会全体で感染拡大を抑えなければなりません。医療体制を機能させるためにも、感染者の減少が望まれます。そのために皆さんができることは様々あるはずです。うがい、手洗い、換気は家にも徹底してください。

さて、先日の卒業式で巣立っていく卒業生に、はなむけの言葉として「真善美」を大切にしてくださいと伝えました。実は、野上弥生子さんが作詞した臼杵高等女学校校歌の最後が、この「真善美」の言葉で締めくくられています。「真善美」の「真」は、知性を持って揺るぎないものを追求する、まさに皆さんの学習がこれに当たると思います。「善」は人の良心を表したものであり、他者理解や他人への思いやり、今回の感染症の問題にも当てはまりますが、社会全体を考えた配慮に富んだ行動はこれに含まれると思います。さらに「美」は人としての本質的な美しさや、豊かな感性が育まれた状態であり、美しく生きるためには自身の人間性をどう高めるかが問われます。すがすがしい挨拶、ひたむきに夢を追い求める姿、これらに高校生の人としての美しさを私は感じます。先人が大切にした「人としての普遍的な価値」を心に刻んで、卒業生同様、皆さんも「今」を大切に生き抜いてください。

3月2日から始まった休校も1週間が過ぎました。これからも続き、先行きがはっきりしませんが、皆さんが「今」すべきことは何でしょうか。通学しているときと同様に同じ時間に起床し規則正しい生活を送ることであり、特に、学習時間はしっかりと確保し、各教科から出された復習を中心とした課題に、計画を立ててしっかりと取り組んでほしいと思います。課題に取り組むことは、これまでの学びを振り返り、新たな発見ができるよい機会となります。また、自分で自由に使える時間がかかなりありますので、読書もおすすめです。読解力が高まるだけでなく、想像力や教養が磨かれるなど様々な利点があります。文字から脳への刺激は常に思考を伴い、文字離れの今の時代だからこそ必要です。共感し、多くの感動が得られるのも読書の魅力です。空いた時間にぜひ本と向き合い、視野を広げてください。

学校に生徒の姿が無くなり、先生方も寂しい思いをしています。1日も早く感染が沈静化し、再びこの学び舎が感動体験の場になることを願っています。生徒の皆さんはその日が来るまで、しっかりと自分を見つめ直す、そして成長する貴重な時間を過ごしてください。

校長 藤永直也